

## 事業計画書

1 事業名称	地域インターンシップ世田谷
2 協働事業の内容及び実施方法	<p>(1) 事業の目的</p> <p>「学生が地域にかかわる機会を増やし、それぞれ活躍できる場をコーディネートし、地域を担い支える人材が育つプラットフォームをつくる。」</p> <p>地域やNPO・市民活動へのインターンシップは、参加学生にとっては社会参加のきっかけや地域との出会いのきっかけとなり、地域や受け入れ団体にとっては、担い手を増やし育成していくことにもつながる。先行事例として日本各地様々な地域で行われているが、効果的なプログラムとして実施するためには、学生と地域団体の両者をつなぎ、ともに成長を支えるコーディネーターの存在が重要である。</p> <p>世田谷は昔から市民活動が盛んである一方、大学も多く存在しており、プログラムの前提条件は整っている。そこで、そうしたコーディネーターとしての役割を果たすべく、当団体の他、一般財団法人世田谷コミュニティ財団・NPO インターンシップラボ（NPO 法人アクションポート横浜）に加えて、区内の学生・若者有志で実行委員会を立ち上げ、プラットフォーム化・知見の共有・負担の分散を進めながら、プログラムの実現を目指すことにした。</p> <p>初年度となる2021年度は民間助成団体の助成を受け、実態調査とニーズ調査を行い、それを踏まえて10名の学生を4団体にトライアルインターンとして派遣コーディネートをした。</p>
	<p>(2) 事業の内容</p> <p>* 実施体制や実施手法を含めて記入すること。</p> <p>本事業は、区内で活動する市民活動団体やNPO法人などに、大学生を中心としたインターン生を派遣し、団体とともに現場で活動してもらうことで、社会課題を解決する組織の一員として、学生の成長と地域貢献に向き合うプログラムである。</p> <p>2022年度は、初年度のトライアルを踏まえ、地域インターンシップの普及と仕組み化に向けたステップアップ期間と位置づける。</p> <p>特に、下記2点、</p> <p>① 行政や大学との連携による学生との接点強化（20名募集）</p> <p>② より多様な形でのインターンシップ実施（10団体に対して10日間～半年間）を重点事項として実施したい。</p> <p>* 期間：8～9月を中心に、10日（80時間）程度</p> <p>* 内容：活動体験・見学を主とするが、プロジェクト型参加もあり</p> <p>* 募集：20名程度</p> <p>* 対象：NPOや地域貢献に興味がある高校生・大学生</p> <p>実施体制としては、昨年度からの実行委員会形式を維持し、当団体もそこに参画する形で実施する（事務は実行委員会内で分担する）。受け入れ団体は実行委員の持つネットワークから声をかけて集めていく。</p>
	<p>(3) 新型コロナウイルス感染拡大防止の影響による事業実施への工夫等</p> <p>区内での移動が主となる活動でありなるべく対面で実施したいが、緊急事態宣言の発出等の感染状況によっては、受け入れ団体と協議の上で、研修会・会議やインターンシップ活動ともにオンラインを主としての実施に切り替える。また、必要に応じて感染防止ガイドライン（人数制限、体調管理、消毒など）を作成し、大人数が集まるイベントは元から計画しないこととする。</p>
	<p>(4) 令和4年度事業完了予定日</p> <p>令和5年 2 月 28 日</p>

3 協働の必要性及び役割分担	(1) 区の担当課	子ども・若者部 子ども・若者支援課											
	(2) 協働する意義・必要性	<p>昨年度実施したヒアリング調査などから、学生を受け入れたい地域の団体はたくさんあり、そうした団体では活動経験のない学生でも歓迎され、むしろ新鮮な気づきが多い。しかし本プログラムの認知度がまだまだ低いため、関心ある層にはアプローチできるものの、主要な対象としたい普段地域と縁が薄い学生へ周知するチャンネルが少ないのが現状である。</p> <p>若者支援課をはじめとして世田谷区では、若者向けの施策やプロジェクトを様々展開しており、行政がかかわる活動で若者が多数参画してきている実績がある。社会的信用度のある区と協働することにより、そうした施策やプロジェクトと連携することで、これまでと違って幅広い層への認知度が上がり、地域の担い手増加につながる可能性がある。また、世田谷区における若者の状況や施策についての情報提供もお願いしたいと考えている。</p>											
	(3) 役割分担	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 20%;">提案団体</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の企画・運営全般</li> <li>・インターン生のコーディネート・サポート</li> <li>・受け入れ団体のコーディネート・サポート</li> <li>・事業についての情報発信</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">区担当課</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協働での事業企画</li> <li>・事業の周知・広報（とくに高校生・大学生に対して）</li> <li>・事前研修等での講師（世田谷区の地域について）</li> <li>・必要に応じて区役所他部署との調整</li> </ul> </td> </tr> </table>	提案団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の企画・運営全般</li> <li>・インターン生のコーディネート・サポート</li> <li>・受け入れ団体のコーディネート・サポート</li> <li>・事業についての情報発信</li> </ul>	区担当課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働での事業企画</li> <li>・事業の周知・広報（とくに高校生・大学生に対して）</li> <li>・事前研修等での講師（世田谷区の地域について）</li> <li>・必要に応じて区役所他部署との調整</li> </ul>							
	提案団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の企画・運営全般</li> <li>・インターン生のコーディネート・サポート</li> <li>・受け入れ団体のコーディネート・サポート</li> <li>・事業についての情報発信</li> </ul>											
区担当課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働での事業企画</li> <li>・事業の周知・広報（とくに高校生・大学生に対して）</li> <li>・事前研修等での講師（世田谷区の地域について）</li> <li>・必要に応じて区役所他部署との調整</li> </ul>												
(4) 地域の団体との連携	<p>本事業の実施にあつては、受け入れ団体として、区内地域で活動する様々なNPOや市民活動団体などと連携して行う。</p> <p>&lt;以下、受け入れ団体（案）&gt;</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">①NPO 法人 neomura</td> <td style="width: 50%;">②一般社団法人おやまちプロジェクト</td> </tr> <tr> <td>③NPO 法人せたがや子育てネット</td> <td>④放課後等デイサービス 凸凹 Kids すべいす</td> </tr> <tr> <td>⑤ハーモニー（就労継続支援施設）</td> <td>⑥認定 NPO 法人プレーパークせたがや</td> </tr> <tr> <td>⑦（社福）世田谷ボランティア協会</td> <td>⑧一般財団法人世田谷トラストまちづくり</td> </tr> <tr> <td>⑨work &amp; play コワーキング</td> <td>⑩100 人の本屋さん</td> </tr> <tr> <td>⑪認定 NPO 法人 CFF ジャパン</td> <td>⑫一般財団法人世田谷コミュニティ財団</td> </tr> </table> <p>※上記はあくまで候補団体であり、これから交渉予定。今年度は上記より 10 団体と連携する。</p>	①NPO 法人 neomura	②一般社団法人おやまちプロジェクト	③NPO 法人せたがや子育てネット	④放課後等デイサービス 凸凹 Kids すべいす	⑤ハーモニー（就労継続支援施設）	⑥認定 NPO 法人プレーパークせたがや	⑦（社福）世田谷ボランティア協会	⑧一般財団法人世田谷トラストまちづくり	⑨work & play コワーキング	⑩100 人の本屋さん	⑪認定 NPO 法人 CFF ジャパン	⑫一般財団法人世田谷コミュニティ財団
①NPO 法人 neomura	②一般社団法人おやまちプロジェクト												
③NPO 法人せたがや子育てネット	④放課後等デイサービス 凸凹 Kids すべいす												
⑤ハーモニー（就労継続支援施設）	⑥認定 NPO 法人プレーパークせたがや												
⑦（社福）世田谷ボランティア協会	⑧一般財団法人世田谷トラストまちづくり												
⑨work & play コワーキング	⑩100 人の本屋さん												
⑪認定 NPO 法人 CFF ジャパン	⑫一般財団法人世田谷コミュニティ財団												

4 協働の成果・効果	(1) 期待される具体的な成果や区民・地域への波及効果及びその測定方法	<p>(団 体)</p> <p>これまで地域に縁が薄かった学生が、インターンシップを通して地域の人や団体と出会い、世田谷という地域に愛着を持つようになる。中にはインターンシップ先団体もしくは他の機会においても、地域の担い手となる学生が継続的に育つことも期待される。NPO 等の団体にとっても、若者が参画することにより世代や視点の多様性がより増すこと、人材コーディネートの経験知が高まることにつながる。効果測定の方法としては、インターン活動の記録（統計データ）、受け入れ団体および学生（インターン生）へのヒアリングやアンケートを考えている。</p>
---------------	-------------------------------------	---

[令和4年度提案型協働事業 様式]

		<p>(区担当課)</p> <p>地域活動に興味を持つが参加の方法を知らない学生が、区の媒体を活用して周知・PRすることにより、活動の場を知ることができる機会が増える。また、参加する学生や若者が増えることで、地域が抱える課題を学生が目線で発見し、課題解決に向けて区とともに取り組むことが可能となる。</p> <p>また、学生や若者が地域活動に加わることで、地域の活性化につながり、イベントなどに参加した区民の満足度向上が期待できる。</p>
	<p>(2)事業の成果の活用方法、将来の展開</p>	<p>(団 体)</p> <p>協働を通して培った世田谷の学生や大学との多岐に渡るパイプや関係機関・団体とのつながりを大切にして継続し、そうしたつながりから、毎年多数の学生がインターンシップにエントリーするように促す。そうしてプログラムを持続させ、“世田谷に地域インターンシップあり”と定着させるようにする。そして、インターンシップを継続することで、先輩の体験学生が後輩の学生を教え合う・支え合うような参加学生同士のコミュニティができることを期待したい。</p> <p>(区担当課)</p> <p>地域社会の未来の担い手である若者を発掘し育てることができる。これらの人材が地域活動を経験し、新たなつながりが生まれることで、地域を支えるネットワークが広がり、新たな事業展開につながることも期待できる。さらに、本事業が継続していくことで、地域活動を経験した若者が地域に根付き、さらにその子どもたちが地域活動に参加する好循環が生まれる土壌をつくることができ地域が活性化することも期待できる。</p>
<p>5 その他</p>	<p>*提案する事業と関連する団体の特徴・専門性や実績、提案や事業実施に向けたアピールなど。</p>	<p>実行委員会の構成団体であるNPOインターンシップラボは、日本各地でNPOインターンシッププログラムを実施している団体同士のネットワーク団体であり、ここを経由して、日本各地での事例からの知見を得たり、課題があるときの相談場所として機能したりしている。</p> <p>世田谷でもインターンシッププログラムを立ち上げ、かつ特に行政と一緒にやってこの事業を行うことは事例として珍しく、このNPOインターンシップラボを通じて、世田谷の全国的なアピールにもつながるのではと期待している。</p>

※昨年度に提案型協働事業を実施した団体は、次のページもご記入ください。

※昨年度に提案型協働事業を実施した団体のみご記入ください。

6 昨年度の世田谷区提案型協働事業の効果など	(1) 昨年度の協働事業の効果・実績  ※昨年度に提案型協働事業を実施した団体のみ記入すること	
	(2) 昨年度の事業内容と比較して、新しい点や工夫した点など  ※昨年度に提案型協働事業を実施した団体のみ記入すること	
	(3) 協働事業を継続する理由  ※昨年度に提案型協働事業を実施した団体のみ記入すること	

### 事業実施スケジュール

※適宜、罫線を入れるなどして見やすいように作成してください。

時期	内容
<5月> 5月後半～ 6月末まで	ウェブサイトやSNSなどを通じて、インターンに応募する学生を募集開始する 合わせて、運営資金確保のためのクラウドファンディングを開始する 地域の団体と個別にヒアリングや調整を行い、受け入れ団体を確定させる
<6月> 初旬ごろ	学生向けの広報を強化する（大学や行政との連携） 学生向けの説明会を開催する（オンライン予定） （問い合わせがあれば随時対応する）
<7月> どこかの土日 (14～17時)	応募学生と受け入れ団体のマッチング会および研修会を開催する エントリーシートを提出してもらい、正式に団体とマッチングする （必要に応じて個別に団体と学生の面接を行う）
<8月～9月>	主なインターン活動期間とする ※毎月1回程度、インターン生同士の交流会を開催する
<10月>	成果報告会を開催する 振り返りを行い、次年度につなげる
<11月～1月>	引き続き長期プロジェクト型でインターンをする学生のフォローアップや受け入れ団体のサポートを行う
<2月> 2/28	報告書を提出する

[令和4年度提案型協働事業 様式]

### 事業収支予算書

#### 【収入】

費目・内容	金額 (円)	積算内訳
補助金	500,000	
参加費 (インターンシップ生より)	20,000	1000円×20名
自己資金 (クラウドファンディング)	300,000	
合計	820,000	

#### 【支出】

費目・内容	金額 (円)		積算内訳	
	事業予算額	うち補助金申請額		
人件費	コーディネーター費	600,000	420,000	6万円×10ヶ月分 (補助金は6万円×7ヶ月分充当)
	[小計]	600,000	420,000	
報償費	受け入れ団体謝礼	100,000	80,000	10団体×1万円 (実行委員会構成団体は除く)
	[小計]	100,000	80,000	
消耗品・備品費	文具など一式	5,000	0	
	[小計]	5,000	0	
複写・印刷費	チラシ代	10,000	0	
	コピー代	5,000	0	
	[小計]	15,000	0	
郵送・広告・保険料	郵送代	10,000	0	
	保険料	10,000	0	
	[小計]	20,000	0	
使用料・賃借料	会場費	30,000	0	
	サーバー代	40,000	0	
	[小計]	70,000	0	
交通費	実行委員交通費	10,000	0	
	[小計]	10,000	0	
その他				
	[小計]	0	0	
合計	820,000	500,000		

☆この事業収支予算書は、今回提案する事業に要する予算を記入するものです。団体の年間予算を書くものではありません。

☆日常の運営経費（団体等の日常運営の人件費、事務所賃借料、光熱水費、日常運営に要する消耗品・備品費等）は対象外です。

## 団 体 の 概 要

団 体 名	特定非営利活動法人 CFF ジャパン		
所 在 地	東京都世田谷区給田 3-34-3 山喜荘 1 0 1	電話番号	03-6279-5096
		FAX	03-6279-5097
代表者氏名	安部 光彦	役職	代表理事
事業責任者  ※住所、電話番号・ FAX、Eメールは 公開しません。	氏 名	川崎 修	役職
	住 所	[REDACTED]	
	電話番号	[REDACTED]	
	FAX	[REDACTED]	
	Eメール	[REDACTED]	
設立年月 (活動開始年月)	1996年11月(特定非営利活動法人設立:2001年1月)		
役員等の構成 及び社員数 (会員数)	理事7名 監事1名 社員10名		
主な活動分野	(1) 国際協力の活動 (2) 子どもの健全育成を図る活動 (3) 人権の擁護又は平和の推進を図る活動 (4) 社会教育の推進を図る活動 (5) 災害救援活動 (6) まちづくりの推進を図る活動		
主な活動実績  *行政との協働 の実績を含む。	・フィリピン・マレーシア・ミャンマーでの厳しい立場に置かれた子どもの支援・児童養護施設の運営と、日本からのボランティアプログラム(ワークキャンプ・スタディツアー)の実施による青年育成。これまでのべ約5,000名の学生が参加。 ・大学や高校と協働しての海外フィールドワーク企画・実施。 (大阪大学、N高等学校等) ・教員向け研究会運営とオンラインスタディツアーの実施。 ・世田谷区烏山地域での子育てひろばの運営。 ・コミュニティカフェ「ななつのこ」を拠点とした子ども向け学習支援(世田谷区子どもの学び場運営スタートアップ事業)や国際理解講座の実施。 ・地域インターンシップ世田谷(2021～)		
団体の ホームページ	<a href="https://cffjapan.org">https://cffjapan.org</a>		